

中間支援活動助成(基本)事業実績報告

団体名	特定非営利活動法人 市民事務局かわにし	代表者名	理事長 三井 ハルコ
事業名	「NPO大学・マナビ塾」2023		

< 事業実施実績 >

	相談業務	ネットワークの構築 ・情報提供	人材育成 (講座開設等)	書類作成指導	その他 (調査研究等)
R4 実績	10 件(18 回)	3 件	13 人 (13 団体)	3 件	2 件
R5 計画	10 件程度	3 件程度	10 人 (10 団体)	3 件程度	
R5 実績	14 件(16 回)	3 件	10 人 (8 団体)	3 件	

< 効果と成果 >

<p>中間支援スタッフの支援力アップ < 各種相談に携わる中間支援スタッフの研修 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業を継続することで、中間支援組織の必要性・重要性を広く浸透させると同時に、相談・支援業務に携わるスタッフのスキルアップが各自のOJTに委ねられている現状の改善にも寄与している。 ・「公益の中間組織」として、市民活動団体への適切な支援で市民社会の裾野を広げるだけでなく、新たな価値創造を継続していくためにも「共生につながる支援力の充実」は不可欠で、当事業はその一助となっている。 <p>NPOなどのマネジメント講座としてオーソライズ < 定型的な支援方法継承の必要性 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NPO大学」のように官民協働で実施してきたオーソドックスな研修は類が無く、今後も時代に即応しながら恒常的・継続的な開催が望まれる。「CS神戸」からバトンを受けて以降も合わせると受講延べ人数は1,000人を越え、県内NPO人材の育成に確実に寄与していると言える。また「NPO大学・マナビ塾」は、自団体の「定期健診」の機会としても活用でき、自主自律的な組織マネジメントにも有用である。

< 今後の展望 >

<ul style="list-style-type: none"> ・認定NPO法人CS神戸が、兵庫県やひょうごボランティアプラザと協働で実施してきた「NPO大学」事業を、2015年にバトンを受け継いでから9年となる。昨年度の「ふりかえり」で、そろそろ当法人の独自色を出してみたいとの意見があり、今年度はオンライン併用で「基礎編」と「実践編」で実施したところ非常に好評だった。今後は特に「基礎編」での「講義」を「コモンズ(共有財)」として蓄積していくことを検討したい。 ・全県事業として県内各所で実施してきたが、効果検証の視点からは同地域である程度、継続的に実施したほうが成果が上がるのではないかとこの意見が講師陣からあった。今後の対象地域も検討していきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費	38,000
自己資金	6,353
合計	544,353

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	謝金 (講師・協力団体)	206,000	206,000
	人件費 (プロジェクト)	109,740	109,740
	広報費	71,500	71,500
	その他 (旅費交通費等)	10,960	10,960
	小 計	398,200	398,200
	間接経費 (一般管理費)	146,153	101,800
	合 計	544,353	500,000